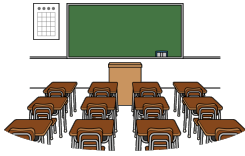


# 学校だより



2026年

5月号

## 令和8年度、スタートです！

校長 山崎 眞弘

千松小学校へ校長として赴任し、3年目となりました山崎眞弘（やまさきまさひろ）です。千松小の明るく素直な子どもたちと毎日接する中で私自身が元気をもらっています。今年度も子どもたちにとって、安全で安心できる学校にしていきたいと考えております。

さて、令和8年度の千松小学校は、131名の新入生を迎え、全校児童839名、34学級でのスタートとなりました。学校と家庭と地域が互いに協力・連携しながら、本校教育の充実・発展に一層取り組んでまいります。

本年度も、どうぞよろしく願いいたします。

子どもたちの実態を踏まえ、これまでに引き続き本年度の千松小教育の学校教育目標は、次のように決めました。

### 豊かな心を育み、自ら考え、たくましく生きる子どもの育成

～あいさつ 笑顔 感謝～

- ◇「豊かな心」：優しさや思いやりの心もち、創造性や感受性が豊かな子ども。
  - ◇「自ら考え」：自分から考え、知恵を出して行動する子ども。
  - ◇「たくましく生きる」：目の前の課題にも、粘り強く一生懸命に取り組む子ども。
- このような子どもたちの姿をめざし、目標達成に向けて努力してまいります。

### 地域からの支援について

子どもを育てていくためには、学校、保護者、地域の連携が大切です。千松小学校がある加茂地区には様々な団体があります。そのどの団体も千松小学校の子どもたちのために、力を尽くしてくださる、校長としてはありがたく、心強い存在です。その団体を紹介すると

- 加茂コミュニティ協議会
  - 加茂地区子どもを守る会
  - 加茂体育協会
  - 加茂民生児童委員協議会
  - 加茂交通安全母の会
  - 加茂地区社会福祉協議会
  - 加茂地区青少年健全育成協議会
  - 加茂婦人会
  - 加茂自治会
  - （加茂児童館）
- などの団体があります。

それぞれの団体が常に連携しながら活動をし、学校に様々な支援をしてくれています。

# 『あいさつ 笑顔 感謝』

生徒指導主任

校庭の木々が暖かい風にそよぐ中、いきいきとした顔で子どもたちが生活しています。新学期がスタートし、早二ヶ月が過ぎました。子どもたちはいろいろな力を秘めています。毎日の生活や様々な行事に積極的に参加し、今まで自分でも気づかなかったパワーをどんどん発揮してほしいです。光る子一人ひとりが、充実した素晴らしい1年間を過ごすために、まずは、規則正しい生活を心がけてほしいと思います。

今年の重点目標は「あいさつ 笑顔 感謝」です。元気にあいさつできるよう支援していきたいと思います。

「千松のくらし」の中から、家庭生活に関わる項目を抜粋しましたので、ご家庭でもお子様と今の生活ぶりを十分話し合ってください、充実した学校生活をおくることができるようにご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。

## 千松のくらし (抜粋)

### 1. 学校へ来る時

◎ 7時30分～8時15分までに登校できるように家を出ましょう。

**※スクールゾーンの立哨時間や安全面を考慮し、早過ぎる登校は控えましょう。**

◎交通のきまりを守り、事故に気をつけて、通学路を歩いて学校へ来ましょう。

◎交通指導をしていてくれる人、近所の人や先生に出会ったら「おはようございます」とあいさつをしましょう。

◎ハンカチとティッシュを持ってきましょう。

### 2. 家に帰る時

◎先生や友達に「さようなら」とあいさつをしましょう。

◎寄り道をしないで、まっすぐ家に帰りましょう。

◎交通のきまりを守り、きまった通学路を歩いて帰りましょう。

### 3. その他

◎おすれ物をしないように気をつけましょう。

◎学校で困ったことがおきた時は、すぐに先生に話しましょう。

本年度重点的に学校全体で取り組むめあては次の3項目になっております。

### ①進んであいさつをしよう

あいさつや声かけをきっかけにして、思いやりの心を育てていきたいと思っています。

### ②感謝の気持ちをもって生活しよう

些細なことにも感謝の気持ちを忘れずに生活を送りたいと思っています。

### ③友達と仲良くし、笑顔のあふれる学校にしよう

友達同士がお互いのことを共感的に理解し合える仲間づくりを目指したいと思っています。

「人を思いやる心を育て」「自ら学び成長する技を磨き」「たくましくしなやかに生活していくための体をつくる」「心・技・体」を進めていくために、様々な場で子どもたちに指導・支援をしていこうと思っています。ご家庭でも、お子様と学校生活等について、いろいろな場で話をいただければと思います。そして、お子様の頑張る姿を認め、たっぷりの褒め言葉をかけてください。ご家庭でもご理解・ご協力をお願いいたします。